

児童朝会 校長の話 5月16日

5月24日は浅草小学校の誕生日です。今から149年前、明治6年の5月24日に学校ができました。今日は浅草小学校の歴史に関するお話をします。校歌のお話です。



今、皆さんが歌っている校歌ができたのは、昭和28年で、約70年前です。ですから、今70才代、60才代、50才代…の卒業生みんなが校歌を知っています。卒業生に会うと、お年を召した方でも「今でも校歌が歌えますよ」と話してくださいます。



この校歌を作った方は誰かというところ、作曲はその当時の音楽の先生、長妻完全先生です。長妻先生直筆の楽譜が残されています。



作詞は土岐善麿氏です。この土岐氏は歌人で国文学者ですが、なんと浅草小学校の卒業生です。明治32年に卒業しています。浅草小学校の校歌を作っただけではなく、全国の小学校、中学校、高等学校、大学の校歌を全部で280曲、作詞しています。台東区内では浅草小学校以外にも、二長町小学校、大正小学校、石浜小学校、育英小学校、御徒町中学校、台東中学校、竜泉中学校、蔵前中学校の校歌、そして

「台東区の歌」の歌詞もしています。

どんな小学生だったかというところ、当時東京の府知事が浅草小学校に来校した際に、生徒



代表で歓迎の言葉を述べました。その時の様子が「格調高き名文に、一同胸を打たれた」と記録されています。どんなにか文章を書くのが上手だったのでしょうか。小学校を卒業して高校、大学へと進み、新聞社に勤めました。新聞記事を書いたり編集したりする仕事の傍ら、校歌を作ったり、雑誌を書いたり、国語や文学について研究したりしていました。

そして、新聞社を辞めて研究者として大学の先生になりました。

浅草小学校の校歌は「道広く、街開けて～～♪」という歌詞が続きますね。校歌が作られた昭和 28 年は戦争によって浅草の街が焼け野原となってから 8 年後です。広い道の周りにぽつぽつと店や家が建ち並び、街ができてはじめて頃だと思います。その街の中に佇む浅草小学校への愛を込めて歌詞をつくったのではないのでしょうか。素晴らしい卒業生によって作られた校歌ですね。いつまでも大切に歌い継いでいきたいですね。